

令和3年度 病害虫発生予察情報 第3号(6月予報)

群馬県農業技術センター
環境部発生予察係
(病害虫防除所)
TEL 0270-62-1059
FAX 0270-20-8016

【予報の概要】

作物名	病害虫名	対象地域名	発生時期	発生量
作物全般	アブラムシ類	栽培地帯全域	—	並
イネ	ヒメトビウンカ	栽培地帯全域	—	並
	縞葉枯病	感受性品種栽培地帯	並	並
	イネミズゾウムシ	栽培地帯全域	—	並
果樹類全般	チャバネアオカメムシ	栽培地帯全域	—	並
	ハダニ類	栽培地帯全域	—	並
ナシ	黒星病	栽培地帯全域	—	並
	ナシヒメシンクイ	栽培地帯全域	—	やや多
野菜・花き類	オオタバコガ	栽培地帯全域	—	並
トマト・キュウリ	コナジラミ類	施設栽培地帯全域	—	並
キュウリ	べと病	施設栽培地帯全域	—	並
	褐斑病	施設栽培地帯全域	—	並
	うどんこ病	施設栽培地帯全域	—	並
	アザミウマ類	施設栽培地帯全域	—	並
夏秋ナス	アザミウマ類	露地栽培地帯全域	—	並
	ハダニ類	露地栽培地帯全域	—	並
ネギ	ネギアザミウマ	露地栽培地帯全域	—	並
夏秋キャベツ	コナガ	高冷地栽培地帯	—	やや多

(発生時期の—は連続発生)

【主な病害虫の発生予報】

I) イネ

ヒメトビウンカ	発生地域	発生時期	発生量
	栽培地帯全域	—	並

1 予報の根拠

- (1) 5月4半旬に県内12地点（定点）で行った麦類作付ほ場におけるすくい取り調査の結果、本年より調査を開始した1地点を除く全地点で平年よりも少なかった（令和3年5月21日発表 発生予察情報）。
- (2) 予察灯への誘殺数は平年並であった。
- (3) 向こう1か月の気象予報（6月3日発表）によると、平年と同様に曇りや雨の日が多く、平均気温は高い確率50%、降水量は少ない確率40%である。

《発生しやすい条件：麦類作付けほ場における第1世代虫の発生量が多い場合、田植後の水稻への侵入が多くなる。》

2 防除上注意すべき事項

- (1) ヒメトビウンカ（ウンカ類）に効果のある育苗箱施用剤を使用する。なお、県内では殺虫成分フィプロニル（プリンス粒剤など）に対する薬剤抵抗性をもつヒメトビウンカの割合が高くなっているため、使用にあたっては注意する。
- (2) 本年のヒメトビウンカ第1世代成虫の発生は平年に比べて10日程度早いと予測されているので、防除時期に注意する。

縞葉枯病	発生地域	発生時期	発生量
	感受性品種栽培地帯	並	並

1 予報の根拠

- (1) 令和3年2月に採取したヒメトビウンカ越冬世代幼虫のイネ縞葉枯ウイルス（RSV）保毒虫率の県平均は2.5%で、過去10年の平均値3.2%を下回った（令和3年3月10日発表 発生予察情報）。
- (2) RSV保毒虫率が4.3%であった昨年のイネ縞葉枯病の発生は、平年並であった。
- (3) 5月4半旬に県内12地点（定点）で行った麦類作付ほ場におけるすくい取り調査の結果、本年より調査を開始した1地点を除く全地点で平年よりも少なかった（令和3年5月21日発表 発生予察情報）。

《発生しやすい条件：ヒメトビウンカのRSV保毒虫率が高く、ヒメトビウンカの発生量が多い場合。》

2 防除上注意すべき事項

- (1) イネ苗へのヒメトビウンカの飛び込みを防止するため、イネ科雑草が繁茂した場所や麦類作付ほ場付近での育苗を避ける。
- (2) 発病株は伝染源となるので、早期に抜き取り処分する。
- (3) イネ縞葉枯病感受性品種（コシヒカリ、ひとめぼれなど）を作付する場合は、本病を媒介するヒメトビウンカの防除を徹底する。

Ⅱ) ナシ

	発 生 地 域	発 生 時 期	発 生 量
ナシヒメシンクイ	栽培地帯全域	—	やや多

1 予報の根拠

- (1) フェロモントラップへの越冬世代の誘殺数は、3地点中2地点で平年を上回った。
- (2) 向こう1か月の気象予報（6月3日発表）によると、平年と同様に曇りや雨の日が多く、平均気温は高い確率50%、降水量は少ない確率40%である。

《発生しやすい条件：気温が高く、世代間が短縮された場合。》

2 防除上注意すべき事項

- (1) 薬剤散布は丁寧に行い、ほ場の周縁部など薬液のかかりにくい部分に対しては、手散布などにより補正散布を行う。
- (2) 世代間が短縮すると、防除適期が早まるので注意する。

Ⅲ) 夏秋キャベツ

	発 生 地 域	発 生 時 期	発 生 量
コ ナ ガ	高冷地栽培地帯	—	やや多

1 予報の根拠

- (1) 現在までの孺恋村でのフェロモントラップへの誘殺数は、平年並～やや多い*。
- (2) 向こう1か月の気象予報（6月3日発表）によると、平年に比べて平均気温が高い確率50%、降水量が少ない確率40%である。

《発生しやすい条件：少雨条件で発生が助長される。》

2 防除上注意すべき事項

- (1) 生育初期の防除を徹底し、初期密度を下げることにより、生育期中盤の被害拡大を防止するとともに、生育期終盤に発生する次世代の密度低減を図る。
- (2) 薬剤抵抗性の発達を防ぐため、同一系統薬剤の連続散布を避ける。本県ではジアミド系殺虫剤抵抗性をもった個体が確認されているため、薬剤の選択には注意する。
- (3) アブラナ科雑草にも寄生するので、ほ場周辺の雑草を除去する。
- (4) 収穫残渣は増殖源になるので、速やかに片付ける。

* J A 孺恋村からの情報提供

【その他の病害虫の発生予報】

作物名	病害虫名	発生時期	発生量	特記事項
作物全般	アブラムシ類	—	並	各種トラップへの飛来数は、中山間地はやや多いが、平坦地は平年並。
イネ	イネミズゾウムシ	—	並	現在までの発生量は平年並。イネミズゾウムシに登録のある箱施用剤を使用しない場合は発生に注意する。
果樹類 全般	チャバネアオカメムシ	—	並	フェロモントラップへの誘殺数は平年並。
	ハダニ類	—	並	現在までの発生量は平年並。
ナシ	黒星病	—	並	現在までの発生量は平年並。
野菜 ・ 花き類	オオタバコガ	—	並	現在までの発生量は平年並だが、一部地域でトラップ誘殺数が多かったので注意する。高温、乾燥条件で多発する傾向があるため、早期発見及び早期防除に努める。
トマト ・ キュウリ	コナジラミ類	—	並	現在までの発生量は平年並。栽培終了後は施設外への飛び出しや次作への持ち越しを防止するため、施設を密閉して蒸し込み（40℃、7日以上）を行い、施設内の虫を死滅させる。
キュウリ	べと病	—	並	現在までの発生量は一部地域でやや多いが平年並。
	褐斑病	—	並	現在までの発生量は平年並。
	うどんこ病	—	並	現在までの発生量は平年並。
	アザミウマ類	—	並	現在までの発生量は平年並。栽培終了後は施設外への飛び出しや次作への持ち越しを防止するため、施設を密閉して蒸し込み（夏期では7日程度）を行い、施設内の虫を死滅させる。
夏秋ナス	アザミウマ類	—	並	現在までの発生量は平年並。今後、気温の上昇とともに発生が助長されるため、早期発見及び早期防除に努める。
	ハダニ類	—	並	現在までの発生量は平年並。今後、気温の上昇とともに発生が助長されるため、早期発見及び早期防除に努める。
ネギ	ネギアザミウマ	—	並	現在までの発生量は多いが、平年並である。

【今月の気象情報】

関東甲信地方 1か月予報

(6月5日から7月4日までの天候見通し)

令和3年6月3日

気象庁地球環境・海洋部 発表

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

要素	地域	低い(少ない)	平年並	高い(多い)
気温	関東甲信地方	20	30	50
降水量	関東甲信地方	40	30	30
日照時間	関東甲信地方	30	30	40

<概要>

平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率50%です。降水量は、少ない確率40%です。日照時間は、多い確率40%です。

週別の気温は、1週目は高い確率70%です。2週目は平年並みの確率50%です。3～4週目は、平年並の確率40%です。

<参考> 6月の前橋地方気象台観測平年値

	平均気温(°C)	降水量(mm)	日照時間(時間)
1半旬	20.8	17.3	29.9
2半旬	21.2	20.7	25.9
3半旬	21.7	26.4	22.5
4半旬	22.3	29.2	20.5
5半旬	22.9	29.2	19.1
6半旬	23.7	29.3	19.1

農薬の登録内容は随時変更されておりますので、防除薬剤については指導機関にご相談下さい。また、以下のホームページでも確認できますのでご利用下さい。

- ◆ 農林水産省 農薬コーナー (農薬に関する様々な情報)

<http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/index.html>

- ◆ 農薬登録情報提供システム (最新の農薬登録状況の検索や登録・失効農薬情報等)

<https://pesticide.maff.go.jp>

- ◆ 群馬県 農作物病害虫・雑草防除指針

<https://www.pref.gunma.jp/06/f0900064.html>

- ◆ 群馬県農業技術センター 病害虫発生予察情報一覧

<https://www.pref.gunma.jp/07/p14210015.html>

- ◆ ぐんま病害虫ライブラリー

<https://sites.google.com/view/g-byougai>



病害虫発生予察情報
一覧はこちら!

